

小平市議会議員

日向みさ子

一般質問

都市計画道路の情報公開と市民参加を！

昨年注目を集めた小平の住民投票の背景には都市計画道路の問題があります。東京都は2016年から10年間の「東京における都市計画道路の整備方針（仮称）」を策定中ですが、質問で策定検討会議や専門アドバイザー会議が非公開で行われていることがわかりました。オリンピック開催の2020年には東京でも人口減少が始まると予測され、また、道路建設には莫大な費用がかかり次世代への責任もあります。

今後、小平では都市計画マスタープラン改定も控えており、市は東京都に対して公開を求めるよう強く要望しました。また、市としても計画段階での情報公開と参加は必要であり、今後も引き続き訴えていきます。（質問件名：「東京における都市計画道路の整備方針（仮称）」策定に市民参加を）

魅力ある小平を緑と食と文化で発信しよう

市では観光まちづくり振興プランをつくりました。小平の魅力を訪れる人にも楽しんでもらうために、ルネこだいらのレストランの営業時間延長や新築する仲町公民館・図書館のラウンジの活用を提案。ラウンジはカフェとしての運用を検討しているとの答弁で期待しています。また、都市計画においても小平の魅力である緑を守るべきと提案しました。



小平市内の都市計画道路

小平市議会議員

岩本ひろ子

一般質問

家庭的養護をすすめるための里親制度の普及を

日本では、社会的擁護が必要な子どもの8割以上が児童養護施設で生活しています。小平には2つの養護施設がありますが、養育家庭の登録は7家庭で、委託数は4家庭4人という現状です。制度の普及のため毎年実施している「養育家庭体験発表会」の参加者を増やす工夫や、週末や夏休みなどに児童擁護施設の子どもの数日間預かるフレンドホーム制度の周知を市報などの活用で積極的に行うよう提案し、前向きな答弁を得ました。



2013年度養育家庭体験発表会のお知らせチラシ(東京都発行)

だれもが投票に行きやすい環境整備を！

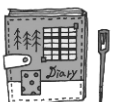
超高齢社会に突入し、投票所までの足の確保は重要な課題です。コミュニティバスやコミュニティタクシーの活用などを提案しましたが、いずれも消極的な答弁でした。投票所まで片道30分かかる地域もあり、投票区の見直しを含め郵便投票の条件緩和などの対応が急務です。（質問件名：投票に行きやすい環境整備と投票率アップの取り組みを）

ごみの削減のための積極的な取り組みを！

食物資源循環モデル事業のさらなる推進、小型家電リサイクル、陶磁器リサイクルの市民への周知等を質問。市として積極的に取り組む姿勢を確認しました。（質問件名：ごみ減量をめざしさらなる取り組みをすすめよう）

ネット議員の活動日誌

- 1月
 - 5 (日) 反原発西武線沿線連合「ユイ・ヤーズデモ」(火憲法講座)
 - 7 (火) 憲法講座
 - 9 (木) 駅前活動報告(小平駅南口)
 - 11 (土) 消防団出初式、女と男の参画講座
 - 13 (月) 成人式
 - 14 (火) 全国フェミニスト議員連盟女性議員パワーアップ集中講座
 - 15 (水) 駅前活動報告(新小平駅)、東京ネット議員連絡会都市計画道路について
 - 16 (木) まちづくり検討特別委員会視察
 - 17 (金) 議会改革推進特別委員会、商工会賞詞交換会
 - 18 (土) 市民奨励学級都市計画への市民参加
 - 19 (日) DV支援者研修
 - 20 (月) 市民活動ネットワーク新年交流会
 - 21 (火) 23 (木) 視察DV対策・長崎・久留米市
 - 24 (金) 十一市組合議会視察(京王土園)
 - 25 (土) ひらくカフェ、映画講演(ベアテの贈り物)
- 2月
 - 26 (日) 学習会「大阪二児置き去り死事件から考える支援」
 - 27 (月) 政策会議
 - 28 (火) 憲法講座
 - 29 (水) 福祉部会、子ども子育て審議会傍聴
 - 30 (木) 東京ネット新春のこたらい
 - 31 (金) 金会派予算説明
- 3月
 - 2 (日) こだいら市民駅伝議員チーム
 - 4 (月) 総務委員会、憲法学習会
 - 5 (火) 生活文教委員会
 - 6 (水) 厚生委員会
 - 7 (木) 建設委員会傍聴、東京ネット福祉部会視察(柏市・浦安市)
 - 8 (土) こだいらソーラー1周年記念講演会
 - 9 (日) 東京都知事選挙
 - 10 (月) 全員協議会予算関連、都政フォーラム(特定秘密保護法)
 - 12 (火) 野火止用水保全協議会研修(生活保護についての学習会)



トピックス

待機児問題はあらゆる工夫で解消を
～保育園条例改正

首都圏の各自治体と同様、小平市も 0,1,2 歳の乳児を中心に認可保育園の待機児が問題化しています。そのような中、市立鈴木保育園を 2016 年度から私立保育園に移行するための条例改正が提出されました。鈴木保育園の廃止にあたっては、受け入れのなかった 0 歳児も含めて新園での定員増が図られますが、待機児が解消していない現時点での改正ということで慎重に審査に臨みました。

この間、市では今年度までに 10 か所の認可保育園を新設しますが、今後も待機児をなくすことに尽力することを確認。移行後も市の所有として残る園舎や園庭を保育に活用することを提案し、庁内で検討するという答弁を引き出しました。

待機児の問題は預け先が確保できればいいというわけではなく、子どもに負担のない親の働き方や保育に関わる人など質の視点も重要です。その意味で、ワークライフバランスの課題認識、家庭的保育の拡充や経験豊富な保育士を育てることなども確認し、子どもたちの遊びや食の安全もあわせて担保する子ども・子育て支援事業計画を作成することを要望し、賛成しました。



現在の鈴木保育園

小平市議会議員
平野ひろみ

一般質問

高次脳機能障がい者への支援について

高次脳機能障害とは、脳卒中(脳血管障害)、感染症などの病気や事故などが原因で脳が損傷され、話す、考える、覚える、集中することなどが難しくなり、生活に支障をきたす状態をいいます。外見上わかりにくく、周囲の人の理解が得られにくいことも特徴のひとつです。

市で把握している数は 14 人のみで、本人家族はもとより主治医にも高次脳機能障害として認識されていないケースもあり、なお潜在していると思われます。

市担当課と生活支援センター 2 か所で丁寧に相談を受け、適切に支援につなげていくため、各行政機関と医療機関が連携して情報共有するよう求めました。



生活リハビリセンター「六三四(むさし)」生活介護やリハビリを行っている事業者。高次脳障がいの人も通っている。

小川駅周辺のまちづくりは
小平にある良さを生かして

懇談会やワークショップを経て、約 2 年間かけて小川駅周辺地区まちづくりビジョンが策定されました。「超高層ビル建設はまちのシンボルにはなりえない」「ありふれたプランのように感じる」などのパブコメ意見を受け止め、障がい者や高齢者にとって移動しやすく、防災面も考えたまちづくりをすすめるべきと強く要望しました。今後は都市計画マスタープランの改定も予定されており、市民とともに考えていくべきです。(質問件名:小川駅前周辺地区まちづくりについて)

- 13 (水)全国市議会議員研修会
 - 14 (木)議会改革推進特別委員会
 - 16 (日)議員と一緒に話す会(テーマ:自転車)
 - 17 (月)幹事長会議、議会運営委員会、政策会議
 - 11 市四市組台議会議
 - 19 (火)小平・村山・大和衛生組合議会議
 - 20 (水)議会運営委員会、小平ネット政策会議
 - 22 (土)23 (日)女と男の市民活動
 - 24 (月)東京ネット政策委員会
 - 25 (火)3 月定例議会本会議初日
 - 26 (水)28 (金)一般質問
 - 3 月
 - 1 (土)法政大五十嵐教授最終講義
 - 3 (月)5 (水)予算特別委員会(一般会計)
 - 6 (木)予算特別委員会特別会計
 - 8 (土)東京ネット定期大会
 - 特定秘密保護法学習会 4 会派合同
 - 10 (月)総務委員会
 - 11 (火)生活文教委委員会
 - 12 (水)厚生委員会
 - 14 (木)スポーツ祭東京解散総会、金曜サロ
 - 15 (金)小平ネット総会、脱原発デモ
 - ピアス小平例会(脳卒中患者の会)
 - 小村大施設整備地域連絡協議会傍聴
 - 16 (日)18 (火)視察生活困窮者支援事業など、葦
 - 面市 大阪市淀川区・豊中市
 - 19 (水)幹事長会議、子ども子育て審議会傍聴
 - 交通安全対策協議会
 - 20 (木)中学校卒業式、権利擁護シンポジウム、
 - 「おし通り沿道地区用途地域・地区計画変
 - 更提案の説明会
 - 22 (土)東京ネット女性部会金子智恵子売春防止法
 - 24 (月)東京ネット政策委員会
 - 25 (火)小学校卒業式
 - 26 (水)3 月定例議会本会議最終日、
 - 議会報編集委員会
 - 29 (土)障がい児放課後児童クラブ開所式、3 小青少年
 - 対さくらまつり、小平青年会議所イベント
- ★掲載したのは活動の一部です。これ以外にもヒヤリングや調査、相談など 3 人の議員がそれぞれ活動しています。